

【POTT 研修会だより1】

石巻赤十字病院（宮城県石巻市）

日時 2016年2月19日17時～19時

場所 石巻赤十字病院 研修室

プログラム POTT シーティングの基本技術

参加者 病棟看護師 12名

指導者 迫田 摂食嚥下障害看護認定看護師 1名

サポーター 仙台市摂食嚥下障害看護認定看護師1名 認定課程修了生1名

昨年は、ベッド上のポジショニングを実施したので、今年は車椅子のシーティングを実施しました。当日は寒い中、勤務終了後に各病棟1～2名の看護師が参加。

車椅子は、移動用であり食事用には上肢や下肢、体幹のサポートが必要なこと、そのための調整方を講義と演習で学びました。演習での体験学習は、患者役や看護師役に分かれてシーティングと食事介助の実際を行いました。

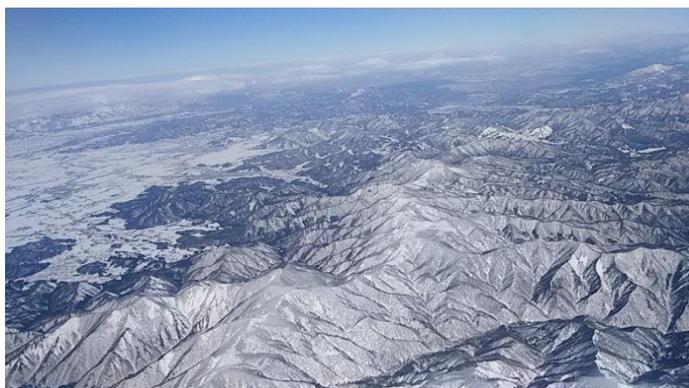
＜ポイント＞

- 車いすでは、自分で食べる人は上肢を安定させる。テーブルの高さを患者に合わせ、車椅子のアームと上肢の間をタオル等でサポートする。⇒自立支援、疲労軽減。
- 介助の場合は、健側介助にこだわらず、利き手で舌正中部に真っすぐスプーンが入る介助位置にする。⇒健側に決めると逆手介助となることあり、食物が取り込みにくい。
- 足は補助台に乗せるのではなく、床に接地させる。足がつかない場合は、台を敷く。⇒90度ルール、食べやすく誤嚥予防。

＜参加者の振り返り＞

「いつも食事を中断していた人は、手が重かったから疲れていたんだ・・・」「足底を着けることで、嚥下がこんなに違うとは驚いた」「明日から早速やってみたい」「実際にやると、あの患者さんにも、この患者さんにもイメージがわいてきました。ぜひ取り入れたい」等の意見がありました。

ベッド上でのポジショニングについても希望があり、追加で演習をしました。



奥羽山脈を越え、仙台に飛びました。広島から仙台まで、1時間30分。石巻から昨年開通した仙石線車中で、「私はまだ魚が食べられない、海も見られない」と、同世代の女性が話され、震災が生活に大きな影響を及ぼしていることを改めて感じました。



石巻赤十字病院玄関前で、認定看護師の T 師長さんが待っていてくれました。

研修会の準備万端！感謝！



車いすのシーティングと食事介助。まずテーブルで、介助体験です。健側介助ではなく、スプーンが舌の中央に入るには、左右のどちら側から介助すればよいか……。気付きが多くありました。



昨年のベッド上ポジショニングの参加者が1名だったため、追加研修をしました。リクライニング位 30度から開始。背抜き、足抜きに感動していただけたようです。



認定看護師の卵の Si さんが仙台からサポーター参加！

もう一人、認定看護師 Sa さんも駆け付けて！充実！

病院内は、震災救援のお礼や激励品が飾られていました。



津波到来の海辺は、まだ震災の爪痕が残ったまま……。翌日は、日和山公園から海岸を一望。復興したパルプ工場からは煙がモクモク上がり、護岸工事用トラックも行き交い、「人間って遅しい！」と畏敬の念が沸きました。